

ジブチ月例報告 (2024年8月)

在ジブチ日本国大使館

【外政】

- 8月6日、ユスフ外務・国際協力大臣は、アフリカ連合委員会（AUC）委員長の選挙キャンペーンの一環として、ケニアのムサリア・ムダヴァディ首相と会談し、二国間関係の強化、東アフリカの平和・安定・発展という共通のビジョンについて意見交換を実施した。
- 8月20日、ユスフ外務・国際協力大臣は、AUC委員長の選挙キャンペーンの一環として、ウガンダのムセベニ大統領を表敬し、ゲレ大統領の親書を手交した。会談の中でユスフ大臣は、アフリカ連合の平和安全保障理事会（PSC）におけるウガンダの重要な役割を強調し、カンパラがアフリカ人道機関の本部として選出されたことに温かい祝意を表明した。
- 8月24日、中国を公式訪問中のアブドゥルカデル首相は、ゴン・チェン（Gong Zheng）上海市長と観光、教育、文化といった主要分野におけるパートナーシップの発展及び港湾分野における協力について意見交換を実施した。
- 8月29日、ディレイタ国民議会議長は、ジブチを兼轄するアル・ブシラ・バスヌール（Al Busyra Basnur）駐エチオピア・インドネシア大使を迎えた。会談の中で、両者はジブチとインドネシアの関係における前向きな進展を歓迎し、二国間の経済協力や、特に地熱エネルギー分野における関係強化の新たな展望についても意見交換が行われた。

【経済・開発】

- 8月1日、ジブチ・テレコムは、国際投資銀行（IIB）との間で相互接続協定に署名した。これにより、Dマネー（電子決済プラットフォーム）のユーザーは、IIBから送金、支払等のサービスが利用できるようになる。
- 8月2日、ハディ港湾・フリーゾーン庁長官は、フー駐ジブチ中国大使と昼食をともにし、上海で開催予定の上海ビジネス・フォーラムや、同フォーラムにおけるジブチ国際フリーゾーンの参加について意見交換が行われた。
- 8月20日、ヨニス・エネルギー大臣は、Rubis Energieの新たなCEOであるジャン＝クリスチャン・ベルジェロン（Jean-Christian Bergeron）氏と、最近東アフリカ担当部長に任命されたオリビエ・サブリエ（Olivier Sabrie）氏からなる同グループの代表団を迎えた。会談では、この地域、特にジブチにおける同社の開発戦略に焦点が当てられ、ヨニス大臣は、国内石油部門におけるRubis Energieの重要性と、ジブチの社会経済発展におけるその重要な役割を強調した。

【保健・衛生・社会】

- 8月11日、バレー・ムスリム担当ワクフ大臣は、メッカで開催された第9回「ムスリム・ワクフ大臣会合」に参加し、過激主義に対抗するための集団行動の必要性を強調した。また、1967年の国境に従って、エルサレムを首都とする独立国家を設立するパレスチナ人の権利を再確認した。
- アフリカ各国を中心に流行中のMpoxについて、WTOは緊急事態宣言を発出したが、ジブチでは現在まで感染例は報告されていない。

【軍事・治安】

- 8月3日、アデン湾を通過中に標的となったコンテナ船「GROTON」は、ジブチ沿岸警備隊による海上消火活動の支援を受け、4日にジブチ港に係留された。同沿岸警備隊は、港湾・フリーゾーン庁とともに乗組員の安全確保と船の修理活動にあたった。
- 8月7日、ジブチ市内にあるジブチ・フリーゾーンにて火災が発生した。食料貯蔵庫まで火災が広がったものの、救助隊による消火活動により、死傷者は出なかった。
- 8月22日、港湾・フリーゾーン庁は、イエメンのホデイダ西方で攻撃を受けたギリシャ船籍の石油タンカー「SOUNDION」の救助活動に参加した。フランスのフリゲート艦「CHEVALIER PAUL」によって救助された29名の乗組員は全員無事であり、ジブチの港に到着後彼らは直ちに関係当局により保護された。
- 8月26日、ザッカリア・ジブチ軍統合参謀総長は、駐ジブチ仏軍の新司令官であるセバスチャン・バレット（Sébastien Vallette）空軍准将を迎えた。両者は、ジブチ軍と仏軍の今後の協力について意見交換を実施した。

【日本関係】

- 8月12日、原大使はアヤヌ外務・国際協力省国際法局長と二国間関係、法の支配等について意見交換を実施した。
- 8月19日、原大使は、新たに着任した富永DGPE、高橋DAPE両司令と海賊対処行動を通じたアデン湾の海洋安全保障について意見交換を実施した。
- 8月22日、原大使は、ジブチ沿岸警備隊の海上搜索救助能力強化のための事業の一環で開催されたワークショップに参加。同事業は日本が支援し、IOM（国際移住機関）が実施している。
- 8月25日、原大使は、クワミ・ディファヌ・ニアルコ＝バドゥ（Kwami Dzifanu NYARKO-BADOHU）・FAO（国連食糧農業機関）常駐代表と農業、漁業、畜産分野でジブチが直面する課題や今後の協力について意見交換を実施した。
- 8月26日、原大使は、Djibouti Ayla Grand Hotelのジェローム・カンダラフト（Jérôme Kandalaft）支配人とホテル業界の状況、多国籍の従業員を抱える大規模ホテルの経営方法等について意見交換を実施した。

- 8月27日、原大使は、新たにジブチに着任した青年海外協力隊の上岡温子隊員及び加藤正響隊員を迎え意見交換を実施した。今後、上岡隊員は外務・国際協力省外交研究所に配置され日本語教育を担当し、加藤隊員は新渡戸稲造基礎学校に配置され、理科教育を担当することとなる。
- 8月28日、原大使は、大統領警護を担当する共和国警護隊のモハメッド・ジャマ・ドゥアレ (Mohamed Djama Doualeh) 司令官を表敬訪問し、地域情勢、二国間関係等について意見交換を実施した。
- 8月29日、原大使は、日本が設立に協力したジブチ地域海洋訓練センター (DRTC/CRFM) のミナ所長と、7月にEUとともに共催した海洋安全保障に関するシンポジウム、今後のプロジェクト、同センターの価値をより高めるために必要な努力等について意見交換を実施した。
- 8月29日、原大使は、市場調査のためジブチを来訪中のインスパイア・アフリカ協会の山口代表理事率いる日本企業関係者一行を迎え、意見交換を実施した。

(了)